

「怪物クラーケン」：Sidney Powell が民主党と

投票機会社の癒着を暴露

選挙を覆すために共産党の開発した、有名な投票機械会社 DOMINION

Infowars, U.S. News

November 14, 2020

共和党弁護士シドニー・パウエルは、民主党ジョー・バイデンのために、2020 選挙をスチールした（盗んだ）と言われる、あらゆる公職員を暴露すると誓い、「ドミニオン投票システム」の投票機メーカーがスチールを容易にした、と主張している。

前トランプ国家安全保障アドバイザー、マイケル・フリンを、ロシアゲートでねつ造された法定闘争で弁護したパウエルは、外国癒着と選挙干渉についての、彼女自身の起訴申し立てを、フォックス・ニュースの Lou Dobbs Tonight ショーに、金曜日、出演して説明した。彼女は、これらの責任者たちを糾弾し、全体にわたる徹底調査を要求しながら、長年に及んで習慣になっているという、この選挙干渉の存在を説明した。

「怪物クラーケンを暴露せよ」：@Sidney Powell 1 は、「シリコン・バレー」や、民主党を使って、彼等の権力を選挙スチールに用いている、左翼の諸企業を暴くと誓っている。

パウエルは、Dominion Voting Systems は、アメリカで使われる投票マシーンで、最大のメーカーの一つだと主張し、「それは、ベネズエラのウゴ・チャベス（社会主義者）のために、投票結果を変えるように製造されたものだ」と言った。

彼女は、これらの機械は、キューバや中国やカラカスの出資によるもので、それは選挙操作戦略と言ってもいいものだと言った。

「ドミニオン」は、自由を求める人々の意志をねじ曲げるために、世界中で使われてきたものだ、と、パウエルは主張した。

「愛国者たちは、毎日、一日中つめかけている。そして何万という票が、バイデン票に変わるように細工され複製されていることを示す、統計的証拠が現れている」とパウエルは

言い、それは、ビッグ・テックやメディア体制派が、この仕事を、「ドミニオン」とその政治的一派のために、粉飾したものだと言った。

「大規模な犯罪調査が行われねばならない。それは何百万という投票や、投票場に影響を与えるものだ」と、彼女はフォックス・ニュースのホストに言い、視聴者に対して「今こそ積極的に活動して、この問題の正しい側を把握し、「ドミニオン投票システム」という詐欺が存在することを、認識してほしいと言った。そして彼女自身は、この作戦に掛けられたカーテン全体を取り払うつもりだと言った。

パウエルは、12月の締め切りが迫って、各州が確定された票数を出すことになっていることを、あまり気にしていない様子で、こう言った——「詐欺として、これは実に深刻なものだ。たとえ各州があまりにも愚か者なので、このまま進んで、機械が作動中であり、間違った結果が出ているのに、票の確定を急いだとしても、・・・それはやはり詐欺として排除されることになる。」

「また（協力した）警察官も安全ではありえない。祖国安全保障省の選挙安全保障チームは、「昨日のうちに」クビになるべきだっただけでなく、FBI長官のChris Wrayも、とうの昔にクビになるべきだった」と彼女は言い、情報局が税金を無駄遣いして、郵便局を警告する人々に、もう一度話をするよう脅したことを、こき下ろした。

28州のアメリカの投票者が、「ドミニオン」の技術を利用して、彼等の票を投じている。そこには、票カウントが監視された、ジョージア、ミシガン、アリゾナ、ネバダ各州が含まれる。この会社は、その投票機械に、先週の選挙に影響を及ぼすような問題は、「絶対になかった」と主張した。

【訳者 Greatchain】

このような「投票機械メーカー」(!)が現実に存在し、その機械が今回も（今までもずっと）使われていたということは、驚きである。これは、アメリカという国——実は「深層国家」——が、国家として腐りきっており、国民をなめ切っており、世界をなめきっている証拠である。これが「アメリカ例外主義」の例外たるゆえんであろう。これでは選挙を行うこと自体が、文字通り茶番劇である。そしてトランプ大統領は、これをよく知っていて、いつ真相を明かそうかと、タイミングを計っているはずである。

それを知らずか、あるいは無視してか、日本の主流メディアが、もっぱら票数だけを数えて、バイデンのための報道をするのは、彼ら自身が腐っているからである。前に言ったこ

とを繰り返す—国民を愚弄するな！　そして今、ワシントン DC で起こっている、大規模な親トランプ・ラリーを正直に、客観的に報道せよ！